

福 山

福山の「京平」 82歳元おかみを元気づけ

6年前に閉店した福山市西桜町の小料理店「京平」が30日、1日限りで復活した。おかみだった広江智恵子さん(82)を元気づけようと、智恵子さんが利用する介護施設の職員たちがお膳立て。知人や住民、かつての常連客が集まり交流した。
(渡部公揮)

繁盛店復活 夢の一日

介護職員らがお膳立て



かつての常連客(手前左)に料理を手渡す智恵子さん(同右)

同店は1973年ごろ、ときを極めた幸男さん(2009年に74歳で死去)の独立をきっかけに2人が開いた。6年後、約50坪に木造2階建ての住居兼店舗を新築した。カウンター約10席と座敷が4部

屋。味や人柄が評判で、国會議員が訪れるなど繁盛したという。ところが2009年6月、幸男さんが急逝。智恵子さんも体調を崩し、閉店を余儀なくされた。1人暮らしの智恵子さんは認知症を発症し、この数

年で症状が進行。ことし3月から地域福祉センター北苅津(北苅津町)を利用する中で、職員に「店に立ちたい」という趣旨の話をするように。職員は症状の改善につながればと応援を決め、7月からボランティアと店内を片付けた。29日夜は、施設で智恵子さんとアジの團圓漬けなどを作り復活にき着けた。

30日は正午すぎから約3時間間き15人が集った。智恵子さんは職員に付き添われてカウンターに立ち、料理を渡したり、ビールをついだりした。開店当初から通った同市瀬戸町の大畑美さん(78)は招待を受け「おかみとまた話せてよかった」。介護福祉士の田中三

千代さん(51)は「みんなの愛情を感じ、元気になってくれるはず」と目を赤くした。智恵子さんは「こんなにしてもらって…。ありがとう、ありがとう」と感謝の言葉を繰り返していた。

備後本社編集部 ☎084(923)1718 FAX(931)8626
電子メール bingo@chugoku-np.co.jp
府中支局 ☎0847(45)2202 FAX(40)0080
ニュースや話題など身近な情報をお寄せください